

2022年10月1日  
一般財団法人日本科学技術連盟  
プレスリリース

## 2022年度（令和4年）日本品質奨励賞の受賞組織について

日本科学技術連盟の日本品質奨励賞委員会は、2022年10月1日、2022年度の日本品質奨励賞（TQM奨励賞、品質革新賞）の受賞組織を別紙の通り決定しましたので、ご連絡いたします。

一般財団法人日本科学技術連盟  
理事長 佐々木眞一

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

一般財団法人日本科学技術連盟  
日本品質奨励賞委員会事務局  
担当：安随<sup>あんずい</sup>正巳，茂田<sup>しげた</sup>宏和，菅田<sup>すがた</sup>未優

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1  
TEL：03-5378-1215  
FAX：03-5378-9842  
E-mail：tqmcre@juse.or.jp

## 2022年度（令和4年） 日本品質奨励賞 受賞組織

2022年度（令和4年）の日本品質奨励賞の審査は、日本品質奨励賞審査委員会の各委員において、本年5月から9月にかけて行ってまいりましたが、本年10月1日開催の日本品質奨励賞委員会において、以下のとおり受賞組織が決定いたしました。

授賞式は、11月14日（月）15:45から、東京・大手町の経団連会館において行います。（経団連会館は、受賞者が中心の参列となり、一般の方はライブ配信での参加となります）

また、受賞組織による受賞報告講演を、東京・日本科学技術連盟 東高円寺ビル（ライブ配信）において、11月10日（木）10:10～10:40の時間帯で、日本科学技術連盟主催の「クオリティフォーラム2022」内で行います。

### 受賞組織（五十音順）

#### 1. 日本品質奨励賞 TQM 奨励賞

- ・ 関工業株式会社

#### 2. 日本品質奨励賞 品質革新賞

- ・ パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社  
インフォテインメントシステムズ事業部 IVI システムズビジネスユニット  
及びパナソニック ITS 株式会社

## 受賞組織参考事項

### 1. 日本品質奨励賞 TQM 奨励賞

#### 関工業株式会社

代表者名 : 関 浩一 (代表取締役)  
所在地 : 〒061-3214 北海道石狩市新港西 3 丁目 702-6  
TEL : 0133-73-1547  
事業内容 : 建設車両フロントアタッチメントの製造販売

#### 【選考理由】

関工業株式会社は、資本金 2000 万円、社員数 35 名、売上高 14 億円であり、北海道石狩市にある。主な事業は建設車両用の各種アタッチメントの設計・製作・販売である。エコステージⅢ取得の後、企業体質をさらに改善するために TQM の強化に取り組んだ。企業理念から、経営ビジョン、行動指針、中期経営計画、方針管理に至る業務を仕組み化・見える化し、柔軟で卓越した経営システムを作り上げている。また、この経営システムの下、改善活動に取り組むことで、生産量が季節によって大きく変動する雪寒商品において、受注生産体制から、需要予測して年間生産計画を立てる平準化生産に移行できている。これらにより、稼働率の向上、生産変動の低減、残業時間の低減などが実現でき、営業利益率が大幅改善した。

### 2. 日本品質奨励賞 品質革新賞

#### パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社

#### インフォテインメントシステムズ事業部 IVI システムズビジネスユニット

#### 及びパナソニック ITS 株式会社

代表者名 : 田辺 孝由樹 (執行役員 兼 パナソニック ITS 株式会社 代表取締役社長)  
所在地 : 〒224-8520 神奈川県横浜市都筑区池辺町 4261 番  
事業内容 : 自動車関連製品および技術の開発・製造・販売

対象となるテーマ : QM7 つの規律・ES 4 つの視点を活用した、  
大規模ソフトウェア開発における人中心の品質マネジメント革新

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社インフォテインメントシステムズ IVI システムズビジネスユニットでは、自動車 OEM 及び自動車用品店向けの商品やサービスを開発、製造、販売している。また、パナソニック ITS 株式会社は車載システムや商品の設計、開発を行っている。両組織では、コロナ禍の中での大規模ソフトウェア開発において、高品質なソフトウェアを遅延なく開発することが重要な経営課題となっていた。この課題を解決するために、制約理論 (TOC) に基づく QM7 つの規律・ES 4 つの視点を活用し、WIP ボードによる課題の抽出、Happy Unit による改善活動、活動の見える化に取り組むとともに、DX を推進した。結果として、フロントローディング化が進み、品質が大幅に改善した。また、従業員の働く意欲が向上し、顧客満足度が向上した。

以上